

平成29年度

## 第1回鈴鹿市公の施設の指定管理者選定委員会（第1部会）会議概要

日時：平成29年5月9日（火）19時30分～21時20分

場所：鈴鹿市役所本館12階1201会議室

出席委員：4人（1人欠席）

内容：下記の通り

### 1 部会長の職務を代理する委員の選出

部会長の職務を代理する委員として、安井委員が指名された。

### 2 非公募施設の施設概要及び非公募の理由について

鈴鹿市稲生民俗資料館・伊勢型紙資料館・庄野宿資料館・佐佐木信綱記念館について、当該施設を所管する文化財課から施設の概要調書等の資料を基に非公募とする考え方と理由を示し、指定管理者制度運用指針 2（1）「地域の人材を活用することで、施設の設置目的を効果的、効率的に達成することができる場合」に該当すると判断されることから、その妥当性が認められた。

主な審議内容は以下のとおり。

鈴鹿市稲生民俗資料館

《質疑応答》

【委員】

- ・ 地域づくり協議会ではなく協議会の部会である「稲生の歴史と文化を守る会」を指定管理者とするのはなぜか。
- ・ 全市的な地域づくりの施策を推進するためにも地域づくり協議会に依頼すべきではないか。

【文化財課】

- ・ 地域づくり協議会は既存の団体を束ねて結成されており、各部会の独立性と専門性が強い。協議会も発足したばかりである上、今回は指定管理者が交代するという事も考慮して、協議会という大きな組織ではなく稲生の歴史と文化を守る会を指定管理者とした。
- ・ 将来的には協議会を指定管理者にすることも視野に入れている。

《審議》

【委員】

- ・ 今後の展望としては、地域づくり協議会の1部会だけでなく、地域で連携し

てみんなで支えていけるような体制を次の指定管理期間内で構築して頂けるよう期待する。

#### 伊勢型紙資料館

##### 《質疑応答》

##### 【委員】

- ・ 4年前の選定の際に、伊勢型紙資料館と伝統産業会館の連携について付帯意見をつけたが、その後連携は進んでいるのか。

##### 【文化財課】

- ・ それぞれの指定管理者である伊勢型紙技術保存会と伊勢形紙協同組合は歴史的に成り立ちが全く異なっていることもあり具体的な連携には至っていないが、伊勢型紙資料館への来館者には伝統産業会館も紹介するなどしている。

##### 【委員】

- ・ 伝統産業会館の利用者は伊勢型紙資料館の5倍近いので、伝統産業会館の来館者にも伊勢型紙資料館に来てもらえるよう働きかけると良い。

##### 【委員】

- ・ 文化財課としては文化財としての伊勢型紙を保存していきたいという考えか。
- ・ 技術を守るためには、施設の管理は別の団体にしてもらい、保存会は技術の保存に注力したほうがよいと考えるがどうか。

##### 【文化財課】

- ・ 無形文化財としての伊勢型紙は人があつての文化財であり保存会の職人がいなくなったら文化財としての伊勢型紙はなくなってしまう。
- ・ 物としての伊勢型紙だけでなく、技としての伊勢型紙の保存が重要であり保存会ではそのための講習を年間70回程行っている。
- ・ 職人が施設の運営に関わり、来館者と交流することの効果も大きいと考えている。

##### 《審議》

##### 【委員】

- ・ 今回の指定期間は良いと思うが、今後、保存会メンバーの高齢化等の懸念がある中で指定管理者として長く継続していけるのか。
- ・ 将来的には、施設管理を別の指定管理者に任せて保存会は技術の保存・伝承を担っていく、あるいは、指定管理者制度ではなく市の直営で施設と技術を守っていくといった転換が必要になるのでは。

**【委員】**

- ・ 鈴鹿市として伊勢型紙の産業発展や技術保存と伊勢型紙関連施設の今後のあり方についてしっかり考えていただきたい。

庄野宿資料館及び佐佐木信綱記念館

《質疑応答》

**【委員】**

- ・ 佐佐木信綱記念館は平成 26 年度から指定管理者制度導入とのことだが、平成 25 年以前はどのように管理していたのか。

**【文化財課】**

- ・ 嘱託職員（学芸員）1 名と再任用職員 2 名を市が雇用して配置していた。

**【委員】**

- ・ 指定管理者制度導入前後での経費面の変化はあるのか。
- ・ 指定管理者になって展示が良くなったとか説明が分かりやすくなったなど、施設のソフト面についての利用者の評価はどうか。

**【文化財課】**

- ・ 指定管理者制度導入前に職員が行っていた業務と、現在指定管理者が行っている業務が異なっており導入前後の経費の比較は難しい。
- ・ 展示は現在も市職員が行っているので、指定管理者制度導入による変化はない。

**【委員】**

- ・ 来館者数は順調に伸びているが、指定管理者制度の導入によってアピールの仕方は変わったのか。

**【文化財課】**

- ・ 積極的に事業を展開している効果があると思う。
- ・ 健康ブームで東海道沿いを歩く方が増え、施設への立ち寄りが増えている。

**【委員】**

- ・ 東海道沿いということで、市内の 2 館あるいは市外の施設と、企画展や P R などでの連絡・連携はあるのか。

**【文化財課】**

- ・ 市外の施設との連絡・連携はない。市内 2 館では、関連した展示などはしていないが、文化財課としては 4 館合わせたパンフレットを作成してアピールしている。

**【委員】**

- ・ 庄野宿資料館と佐佐木信綱記念館は同じ東海道沿いで距離も近く、同日に利用する人も多いとの説明であったが、例えば火曜日だと佐佐木信綱記念館は

開館だが庄野宿資料館は休館ということがありうる。休館日の連携の話はないのか。

**【文化財課】**

- ・ 御指摘の通りだが、利用者アンケートでも苦情等はなく、休館日の連携は考えていない。

**《審議》**

**【委員】**

- ・ 現在も庄野宿資料館や佐佐木信綱記念館に問合せすると、それぞれ他方の資料館の紹介をしてくれる。今後はより一層連携を強化して欲しい。

**3 その他**

- ・ 第2回から第4回の部会開催日について日程調整を行い、次の日程が決定した。

第2回：平成29年5月29日（月）

第3回：平成29年7月24日（月）

第4回：平成29年8月25日（金）

以上